

平成 19 年度第 3 回科学計測専門部会 議事録

日時:平成 20 年 3 月 26 日(水) 13:00-17:30

場所:JAMSTEC 横浜研究所 地球情報館 4F 大会議室

出席者

委員:斎藤実篤(海洋研究開発機構 [専門部会長])、石橋純一郎(九州大学 [書記])、岩井雅夫(高知大学 [古生物 WG 長])、小田啓邦(産業技術総合研究所)、木村浩之(静岡大学)、坂井三郎(海洋研究開発機構)、佐藤 暢(専修大学 [孔内計測 WG 長])、山中寿朗(岡山大学)

WG 長:中村恭之(東京大学 [孔内計測 WG 長])、坂本竜彦(海洋研究開発機構 [執行部、情報システム WG 長])

STP 委員:池原 実(高知大学 [執行部])、鈴木紀毅(東北大学)、布浦拓郎(海洋研究開発機構)、林 為人(海洋研究開発機構 [非破壊計測 WG 長])

IO [JAMSTEC/CDEX]: 江口暢久・Moe Kyaw Thu(CDEX IODP 推進室)

オブザーバ:尾崎雅彦・和田一育(CDEX 技術開発室)、村木宏明 (MWJ)

事務局:吉岡由紀、梅津慶太

欠席者

委員:増田幸治(産業技術総合研究所)、石塚 治(産業技術総合研究所)

WG 長:池原 研(産業技術総合研究所 [非破壊計測 WG 長])

STP 委員:阿波根直一(北海道大学 [旧委員])、岡田 誠(茨城大学 [旧委員])、成瀬 元(京都大学 [情報システム WG 長])

議事次第

1. 開会の辞(出席者紹介、書記指名)[斎藤部会長]
2. 配布資料確認、議事次第確認 [斎藤部会長/事務局]

【報告事項】

3. 前回議事録確認 [斎藤部会長/事務局]
4. IODP/J-DESC報告 [事務局/執行部]
5. CDEX報告 [CDEX]

【報告および検討事項】

6. 6th STP報告 [STP委員]
7. WG報告
 - (1) 孔内計測WG [中村・佐藤共同WG長/斎藤部会長]
 - (2) 古生物WG [岩井委員(兼 共同WG長)・鈴木共同WG長]
8. STP・専門部会委員のローテーションについて [斎藤部会長]
9. その他

- (1) 検討事項のまとめ
- (2) 次回開催日程について

検討事項のまとめ

提言 0803-01: J-DESC コアスクールの単位取得

J-DESC コアスクールへの参加・修了をインターンシップの一種とみなし、単位認定の可能性を検討している大学がある。大学側の要望があれば J-DESC として適切な対応をしていただきたい。

提出先: 執行部

提言 0803-02: 教育用コア

今後 J-DESC コアスクール等で用いる教育用コアが不足することが予想される。教育用コアを継続的に確保するための手段を検討していただきたい。

提出先: 執行部

実行項目 0803-03: 微生物用試料の取り扱い

微生物用試料のサンプリングと冷凍保存に関する現状報告と今後の方針の提示。

実行者: CDEX

期限: 次回専門部会

実行項目 0803-04: コンタミネーションチェック

ライザー掘削で得られるコア試料のコンタミネーションチェックに関し、利用できる泥水中のイオンの種類をリストアップする。

実行者: CDEX

期限: 次回専門部会

実行項目 0803-05: ガスモニタリングの運用方針

ライザー掘削における泥水溶存ガスのサンプリング手法、モニタリング手法、分析方法、分析種目等に関し、運用方針を提示する。

実行者: CDEX

期限: 次回専門部会

実行項目 0803-06: 購入予定文献リスト

CDEX が提示した購入予定の文献リストをレビューし、CDEX へフィードバックする。

実行者: 専門部会委員・古生物 WG

期限: 次回専門部会

実行項目 0803-07: ガスモニタリングのレビュー

ライザー掘削における泥水溶存ガスのサンプリング手法、モニタリング手法、分析方法、分析種目等に関し、KTB、SAFOD、石油業界等の実績をレビューし、報告する。

実行者: 孔内計測 WG

期限: 次回専門部会

実行項目 0803-08: 古生物分野乗船研究者用マニュアル

古生物分野乗船研究者用マニュアルの作成を古生物 WG のタスクとして定めた。H20

年度内の完成を目指して作成作業を開始する。

実行者:古生物 WG

期限:古生物 WG 任期内

実行項目 0803-09:科学支援員の育成

今後科学支援員のトレーニングが必要とされる機器類を CDEX が指定する。それらの機器が適正に運用されている大学・研究機関等を専門部会でリストアップする。

実行者:CDEX、専門部会

期限:次回専門部会

【委員のローテーション】

合意事項 0803-10:委員の選任、退任、推薦等

今回合意した以下の委員の選任、退任、推薦について執行部へ報告する。

- 齋藤専門部会長を新 STP 委員に選出した。第 7 回 STP(2008 年 7 月)から出席する。
- 平成 20 年度第 1 回専門部会(2008 年 7 月)で齋藤専門部会長の任を解く。
- 次期専門部会長として石橋専門部会委員が選出された。現専門部会長退任後、平成 20 年度第 2 回専門部会までに着任する。
- 廣瀬丈洋氏(JAMSTEC 高知コア研究所)を新専門部会委員として推薦した。
- 諸野祐樹氏(JAMSTEC 高知コア研究所)を新専門部会委員として推薦した。
- 岡田誠氏(茨城大)を新専門部会委員として推薦した。

実行項目 0803-11:委員の推薦

古生物分野の新専門部会委員候補者の選任作業を行う。平成 20 年度後半までに着任。

実行者:古生物 WG

期限:平成 20 年 9 月

【謝辞】

合意事項 0803-12:鈴木 STP 委員

第 6 回 STP で退任した鈴木委員のこれまでの多くの貢献に対し、専門部会一同謝意を表す。今後も、古生物 WG の共同 WG 長の一人として、また Paleontology Coordination Group のメンバー、Curatorial Advisory Board のメンバーとしてご活躍をお願いしたい。

合意事項 0803-13:佐藤専門部会委員

本年度で退任する佐藤委員に対し、専門部会一同謝意を表す。佐藤委員には最も長い期間専門部会委員をお務めいただいた。主な功績として、長年の熱心な活動が実って「ちきゅう」への XRF 搭載が実現したことなどが挙げられる。今後は孔内計測

WG の共同 WG 長としてご活躍をお願いしたい。

合意事項 0803-14:仙台 STP

仙台で開催された STP 会議のホスト役を務めていただいた、東北大学大学院理学研究科、鈴木 STP 委員、井龍康文氏、J-DESC 事務局の皆様のご尽力により、STP 会議は円滑に実施することができた。以上の方々に専門部会一同謝意を表する。

議事録

1. 開会の辞[部会長]
2. 資料確認[事務局]
3. 前回議事録確認[部会長] 確認の上、後で承認
4. J-DESC 報告[池原] 以下の報告が紹介された。
 - ・SODV 2008/11 完成予定に延期 カンタベリー掘削から開始
 - ・乗船応募者 Exp.321 Canterbury 3/20 5名をノミネート
Exp.322 Wilkes Land 7名をノミネート
 - ・J-DESC コアスクール実施報告(資料2) 3月に実施
基礎コース24名参加(8名に旅費援助)
同位体コース12名参加
エキスパートコース17名
 - ・広報: ニュースレター 次号 4/1 発行予定, Web のリニューアル予定
 - ・プロポーザル育成をタスクとする委員会を設置することを計画
 - ・日韓合同掘削プロポーザル提案に向けて 執行部員もはりつけて強化
 - ・総会 4/6 14:00ー JAMSTEC 東京事務所にて

コアスクールに関する Q&A

- ・インターン単位認定の可能性について照会[石橋]
- ・新しいコア試料確保のための手段は?[斉藤]
JAMSTEC 公募航海に応募を検討[池原]
- ・実施体制について[坂本] 現在、J-DESC 主催とうたっているが実行監督をしているわけではなく、問題が発生した時にトラブルになりうる。実施体制・実施内容についても J-DESC 執行部での議論を経て、実質的な責任を負える体制の確立が急がれる。

6. STP 報告[布浦&STP 出席者]

#0802-01: QA/QC Report に関するコメント

問題点の洗い出しをした。今後の動向は不明。

#0802-02: IODP measurements document の附則の作成

SPC に上げた

#0802-03: 知的権利に関する検討の必要性の提案

SPC に上げたけど本当に議論されるのだろうか？

#0802-04: KCC からの凍結保存の提案について

KCC は試験運用が可能な状況にある。

#0802-05: Microbiology QA/QC に関する特別提案

Microbiology QA/QC に関する 4 項目の実行について recommend した。

#0802-06: ライザー掘削におけるコンタミネーション

微生物・間隙水化学データへの影響評価のための船上モニタリングの必要性

#0802-07: Subsurface Life Task Force からの recommendation へのコメント

TFM と STP の議論がかみ合うにはまだ距離がある

#0802-08: Core-Log-Seismic Integration に関する報告

#0802-09: Virtual Core Repository at KCC に関する報告

#0802-10: Lithologic Description Reference Collections

#0802-11: PCG (Paleontology Coordination Group)の活動促進

#0802-12: Proposal Review への STP の関与について

#0802-13: Open Hole VSP

EDP からお墨付きが出た。

#0802-14: 高圧下での Vp 測定について

正式に認定。実施状況のレポートを希望。

#0802-15: MSS (Down-hole magnetic susceptibility tool) の報告

認定

#0802-16: Curational Advisory Board への推薦

鈴木紀毅氏を推薦

#0802-17: Oriented Cores に関する presentation

3a. CDEX 報告[江口] ドック中の「ちきゅう」に関する報告

・新規搭載機器の紹介

P-wave 測定器, 高圧下 Vp 測定システム,

イオンクロマトグラフ、LA-ICP

MSCL, 粒度分析計, SEM-EDS, XRF

・ドライドック中の写真

3b. CDEX 報告[Moe] STP コメントへの対応

・#0802-08: Core-Log-Seismic Integration に関する対応

記載されたバックグラウンドの説明(#0507-09 に関する記載)がよくわからない、とのコメントあり[坂本]

7(1). WG報告(孔内計測WG)[佐藤・中村]

- ・泥水検層を検討項目に加え、新規委員4名を追加
- ・J-DESC コアスクール・ロギング基礎コースの開設へ向けて
2008年5-7月に横浜研究所で開催を計画
- ・泥水検層(特にガス分析)について検討
- ・泥水の科学計測への影響に関する議論
KTBなどのサイエンスドリリングでは既に科学的モニタリングを始めている
CDEXの対応待ち
- ・EDPへの提案について CDEXからゲルコアの提案が検討されている

7' 制菌コアバーレルの開発について[CDEX 技術開発室]

流動性被覆材でコア表面を覆い、泥水の浸入を最小限に抑える
陸上試験の結果が紹介された(不使用に比べて1/100程度に汚染が抑えられる)

Q&A

試料からの除去は簡単にできるのかー開発素材による

掘削時の泥水とビッドの接触はあるので、接触時間を短くする仕組みが必要
コアバーレルの長さを1.5mと4.5mで計画しているが、短すぎないか。

1.5mのコアバーレルを用意しても使う機会がありそうにない

ゲルが孔壁に漏れないかー絶対漏れない保障はないが、量的には少ないはず
ゲルそのものの毒性はあるかー制菌性のあるゲルを開発している

回収率が上がるかー開発素材による

7(2). WG報告(古生物WG)[岩井]

IODPフェーズにおける微古生物研究の問題点の共有と改善への努力

- ・南海トラフ航海乗船者よりの報告
- ・船上の文献整備に課題ーCDEXよりフィードバックの予定
- ・乗船情報の共有ー乗船マニュアルの編集?フィードバック体制の構築?
- ・乗船研究者確保への努力が必要
- ・STPロードマップへの対応
- ・アクションプランの提案

8. 委員ローテーション

- ・次期 STP 委員(2008/6-)に齊藤委員を選出した。
- ・齋藤委員の STP 栄転に伴い、次期専門部会長(2008/9-)に石橋委員を選出した。
- ・次次期(2009/6-)に選出される STP 委員として岩井委員を推薦、岩井委員は平成 20 年度末まで専門部会委員の任期を延長する。
- ・林 STP 委員の Alternate となる岩石物性系の専門部会委員として、増田幸治委員に替わって(平成 20 年度4月に交替)、広瀬丈洋委員を承認した。
- ・木村部会委員の長期海外出張に伴い任期を平成 20 年度末とし、なるべく早い段階で微生物分野を引き継ぐ委員を選出する(内定者あり)。
- ・岡田誠前 STP Chair を専門部会委員として推薦する。

9. 次回開催日程

STP 開催4週間前を予定

以上